

# 萌黄 (もえぎ) 通信

「もえぎ」、とは私の一人娘の名前です。誕生年と創業が同じなんです。



みなさん、こんにちは。今年もあと一か月残すのみとなりました。子供の頃、通学時に霜を踏み潰しながら歩いていた記憶がありましたが、最近、あまり見かけなくなりましたね。

12月というと、大掃除ですね。

私の掃除当番は、石材用の洗剤がマッチするために、毎年トイレ掃除と、お風呂掃除と決まっています。大掃除をするときの注意事項は、寒い時期に素手で洗剤を使うと手あれが激しいので、必ず手袋をして掃除をしてくださいね。

## 「白雪姫」に立候補！！

娘の「萌黄 (もえぎ)」が通っている中学校では、毎年1月にクラス対抗の英語劇があるようです。去年は、監督をして、舞台には上がらなかったのですが、今年は積極的に、なんと主役の白雪姫に立候補をしました。当然、何人かが希望しているのですが、オーディションがあるようです。落選すれば、大道具しか役割がないので、毎日、母親とセリフの練習を必死にしています。さてどうなることやら？



当選すれば、劇が平日行われるので、私も仕事を休んで見に行く約束をしてしまいました。

## 夜間の石材補修は寒さが堪えます！

今回の石材メンテナンスは、オフィスビルの外装石材の補修からです。築40年以上の物件で、湿式施工のためか、表層剥離をしないように、注入やら、アンカー補修をしているので、ドリル痕が結構目立っています。

そこで、その痕跡を目立たなくするための補修を行ってきました。

最近、補修材も色が豊富なので大変助かりますね。

以前は、黒を作るために、基本色から着色材の黒をたっぷり入れて黒色を作っていて、そのためか、加工後の硬化が非常に遅くて、整形するのに時間がかかりすぎて待機が多かったのですが、これならば、普通の時間で固まってくれるので、大幅に時短になりました。

外壁の石材は黒の御影石の本磨きです。だから、今回、

この黒のパテ材にさらに本磨きの光沢を上げるために、アメ色のパテ剤を1割くらい加えて、照りを作って補修をしていきました。夜間なので写真では、全く違和感がないのですが、日が明けて昼間見ても補修個所の



違和感はなかったです。

今回は補修仲間のMさんの紹介で試してみましたが、ホント綺麗に補修ができて良かったです。感謝です。！



## 石材サビ抜き！（もらいサビ編）

先日、御影石の錆抜きに行ってきました。サビの形からしても鉄板か何かのもらいサビのようです。ここの物件は、歴史的建造物に指定されていて、築50年以上の風格を残したいとのことで、洗浄をするのに



も色々な申請が必要で、本来ならば、酸性洗剤で洗浄すれば、もらいサビなら比較的簡単に除去出来るのですが、古さを残したままの除去なので、今回は中性のサビ抜剤で行うことにしました。湿布時間は、約5時間と掛りましたが、かなりのサビが除去できました。使用薬剤：ミヤキ製「ベクトル」その他、同等品：アドバンス「AD-7」、紺商「サビクリーン」

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (有)ケイ・アンド・エス 堀内貢次

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10

(電話) 03-3431-0387 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) [kandsstg@jt4.so-net.ne.jp](mailto:kandsstg@jt4.so-net.ne.jp)